

① 工学研究科 2026年度

② 入試区分

工学研究科博士前期（Ⅱ期）

③ 出題科目

英語

④ 出題の意図

科学・工学・産業技術に関する英語の語彙力・読解力・要約力・作文力を多面的に評価する。以下の各設問では、専門的内容を理解し、適切に英語で表現・運用する力を確認する。〔Ⅰ〕受験者の専門分野に関する英語表現力、論理的説明能力、および研究内容の理解度を評価する。

〔Ⅱ〕学術英語における基本語彙（論文構成要素）の理解度を評価する。

〔Ⅲ〕数式・記号を英語で正確に表現する能力を評価する。

〔Ⅳ〕研究活動に必要な実用的英語運用能力（メール作成、依頼表現、礼儀）を評価する。

〔Ⅴ〕英文読解力、要約力、および与えられた内容に基づく論理的英語表現力を総合的に評価する。

【英語】

[Ⅰ] 次の(1)～(5)について指示に従ってすべて回答せよ.

(2)～(5)については, できるだけ詳しく説明せよ.

(1) あなたが現在行っている卒業研究の題名を英語で書け.

(2) あなたの卒業研究の意義や目的について英語で説明せよ.

(3) 卒業研究で取り組んでいる研究の実験方法について英語で簡潔に説明せよ.

(4) 大学院博士前期課程で取り組みたい研究テーマや目的について, 卒業研究との違いや発展している部分が明確に分かるように英語で説明せよ.

(5) あなたが博士前期課程を修了後, 取り組みたいと考えている仕事について, 今持っているイメージを英語で答えよ.

[Ⅱ] 次の(1)～(10)に示す日本語と最も意味が近い英語(a)～(o)から選び記号で答えよ. ただし, ここではすべて単数形で記述している.

(1) 考察 (2) 著者 (3) 要旨 (4) 方法 (5) 材料
(6) 結果 (7) 解析 (8) 要約 (9) 結論 (10) 所属機関

(a) Result (b) Material (c) Affiliation (d) Title (e) Method
(f) Acknowledgement (g) Author (h) Summary (i) Discussion (j) Methodology
(k) Conclusion (l) Introduction (m) Reference (n) Abstract (o) Analysis

[Ⅲ] 次に示す(1)～(10)の数学的表記(数式または数字)を英語で表記せよ.

(1) 42.195 (2) $\frac{a}{b}$ (3) -5 (4) $x^2 - y^2 = r^2$

(5) $\sqrt[3]{8} = 2$ (6) $\pi \approx 3.14$ ($\pi \doteq 3.14$) (7) $\int_3^1 (x^2 + 2x + 4)dx$

(8) $A \subset B$ (9) $AB // CD$ (10) $ABC \equiv DEF$

[IV] あなたはスミス博士に以下の①～⑤を踏まえて英文メールを作成せよ。

- ① メール宛先は John Smith 博士です。
- ② あなたは、博士前期課程の学生として自分を紹介する文章を書いてください。
- ③ あなたが作成中の論文で、スミス博士がウェブサイトで公開している図を使用する許可を求める内容を入れてください。
- ④ 適切な件名と結びの言葉を使用してください。
- ⑤ 最後には あなたの名前、所属、あなたの大学の住所を英語書くこと。

住所は 日本国 香川県高松市浜ノ町 8-53

[V] ①～④の英文はドローンについて書かれています。以下の問いに答えよ

- (1) ①～④の内容を日本語で要約せよ。
- (2) ①～④を踏まえて、ドローン技術の発展がもたらす利点や問題点、将来に与える影響について英語 5-10 文で論じよ。

【該当部分は著作権の関係で省略します。】

【英語】

[I] 受験者自身の卒業研究、大学院で取り組みたい研究、修了後に取り組みたい仕事について記述する問題であるため、解答は受験者によって異なる。

設問の指示に従い、内容が適切に英語で表現されているものについて、適宜加点する。

要件不足や誤記等については減点せず、適切に表現されている内容について加点する。

[II]

(1) **(i) Discussion**

(2) **(g) Author**

(3) **(n) Abstract**

(4) **(e) Method**

(5) **(b) Material**

(6) **(a) Result**

(7) **(o) Analysis**

(8) **(h) Summary**

(9) **(k) Conclusion**

(10) **(c) Affiliation**

[III] (1) Forty-two point one nine five

(2) a divided by b (a over b)

(3) Minus five

(4) x squared minus y squared equals r squared

(5) The cube root of eight is two (Cube root of eight equals two)

(6) Pi is approximately three point one four

(7) The integral from one to three of x squared plus two x plus four with respect to x

(8) A is a subset of B

(9) AB is parallel to CD

(10) Triangle ABC is congruent to triangle DEF

[IV]

以下の内容が含まれていれば、適宜加点する。

要件不足や誤記等については減点せず、適切に表現されている内容について加点する。

- John Smith 博士を宛先としていること。
- 博士前期課程の学生として、自己紹介が英語で書かれていること。
- 作成中の論文において、John Smith 博士がウェブサイトで公開している図を使用する許可を求める内容が英語で書かれていること。
- 適切な件名が英語で書かれていること。
- 適切な結びの言葉が使用されていること。
- 氏名、所属、大学の住所が英語で適切に記載されていること。

[V] 著作権の関係で省略